

汚泥発酵肥料の栽培実証に関する検討会議事録

日時：令和5年8月21日 午後3時15分～3時45分

場所：(株)マルクニファーム圃場および事務所(熊本県阿蘇郡高森町中220)

出席者：

(株)マルクニファーム農場長 児玉 幸之助、取締役 児玉 裕美、主任 本田 浩二、
児玉 邦成
昭光ファームネット(株)代表取締役 柳橋 篤

議題：

1. 汚泥発酵肥料「エコ コンポスト(商品名ドロンパ)」の栽培実証結果の報告
2. 肥料利用者からのフィードバックの検討
3. 今後の改良点と展望

議事内容：

1. 汚泥発酵肥料「「エコ コンポスト(商品名ドロンパ)」の栽培実証の報告
 - 株式会社ピラミッドが製造した汚泥発酵肥料を使った国内肥料資源利用拡大に向けた連携計画に基づき、露地野菜での栽培実証が行われた。肥料の施用効果と栽培状況についてのフィードバックが得られ、さらなる施用が進められている。
2. 肥料利用者からのフィードバックの検討
 - 肥料利用者から、肥料の品質、作物への効果、使用感に関するフィードバックがあった。特に、残臭が少なく、高品質の有機肥料としての評価が高かった。
 - 肥料販売者から、汚泥発酵肥料の製造方法について次のとおり説明があった。
 - イ) 脱水：下水処理場や排水処理施設から排出された汚泥を水分70%以下に脱水する。
 - ロ) 添加物の混合：水分調整と発酵促進のために、オガクズ、樹皮、もみ殻などの植物繊維質副資材や動物排泄物、食物残渣を添加する。
 - ハ) 発酵：添加した汚泥を消化槽に入れるか、堆積させて好気性発酵を行う。この過程で、内部温度を65～75℃まで上昇させることがある。
 - 二) 二次発酵：一次発酵後にふるい分けを行い、二次発酵させて安定化させる。最終的に含水率20%程度の汚泥発酵肥料となる。
3. 今後の改良点と展望
 - 汚泥肥料への悪いイメージの払拭などが挙げられた。

次回会議予定：

令和5年12月28日

備考：

- 7月末現在施用袋数：1,789(35,780kg)